

関西学院大学に対する相互評価結果ならびに認証評価結果

全学的な視点

【評価項目】0 理念・目的・教育目標

総 評

一 理念・目的・教育目標の達成への全学的な姿勢

1889(明治22)年に「キリスト教主義に基づいて人格を陶冶すること」を理念・目標として創立された貴学院は、1948(昭和23)年に新制大学となった。「広い知識や深い専門の学芸を(中略)社会貢献するために使う」ことを重視し、この意味を込め、スクールモットーとして“Mastery for Service(奉仕のための練達)”を掲げている。

2006(平成18)年度現在は、8学部と、専門職大学院を含む11研究科を有しており、上記キリスト教主義が、特に、キリスト教教育、人権教育、ボランティア活動・教育といった面において具現化され、生かされている。このような教育および活動により高い倫理観や道徳観を涵養することは、どの分野の人材養成においても重要であるが、とりわけ、ビジネスや自然科学および工学の領域においては今日的意義が深い。

また、建学の理念の正しい伝達のため、神学部を除く各学部に専任の宗教主事が配置され、全学必修の「キリスト教科目」を担当し、チャペルアワー等のキリスト教関連の行事運営にあたるなど、工夫が施されている。現状では、学部間で、これらの取り組みにかなりの違いがあるように思われるが、宗教主事相互の意見調整のために、「大学宗教主事会」や「学院宗教主事会」が組織されているので、そこでの課題とされたい。

各学部・研究科でも、建学の理念・目的を専門分野と結び付けて、具体的かつ明快な教育・研究目標を設けている。また、それらを、刊行物等で内外に十分に示している。なお、目標達成に向けた努力の成果の一部は、たとえば、資格取得を重視している社会学部社会福祉学科において、学部卒業生のおよそ半数が福祉・医療関係への就職を果たしていることや、理工学研究科において学生の多数の論文発表および学会発表があることにあらわれている。今後、ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動などをおして現状の課題を克服しながら、貴大学がますますの発展を遂げることを期待したい。